

国民公園 皇居外苑
平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事

図 面 目 次

図面リスト(表紙共 16 枚)		
図面番号	名 称	縮 尺
1～4	案内図・特記仕様書 (1)～(4)	1/1000
5	現況図	1/600
6	全体計画平面図	1/600
7	舗装計画平面図	1/600
8～10	A路線園路横断図 (1)～(3)	1/500
11～13	B路線園路横断図 (1)～(3)	1/500
14	見張所周辺計画図	1/30
15	施設詳細図	図示

平成 27 年

環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所

I. 工事概要

工事名称	平成 27 度皇居外苑砂利広場園路舗装工事
工事場所	国民公園皇居外苑 砂利広場地区 （東京都千代田区）
工 期	契約締結の日 ～ 平成28年3月31日
工事規模	車道舗装 約 2,600㎡
工事種目	舗装工事（撤去工、土工、舗装工、付属施設工）
工事概要	砂利広場のひび割れや端部に段差が生じている園路舗装を全面改修し、併せて見張所周囲の排水整備を行うもの。

II. 適用

- （本特記事項は、□のものを適用する。）
- ☒ この特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
- ☒ この工事の施工に当たっての一般事項は、共通仕様書による。
- ☒ 追加事項が必要な場合には、空欄部分に記載する。

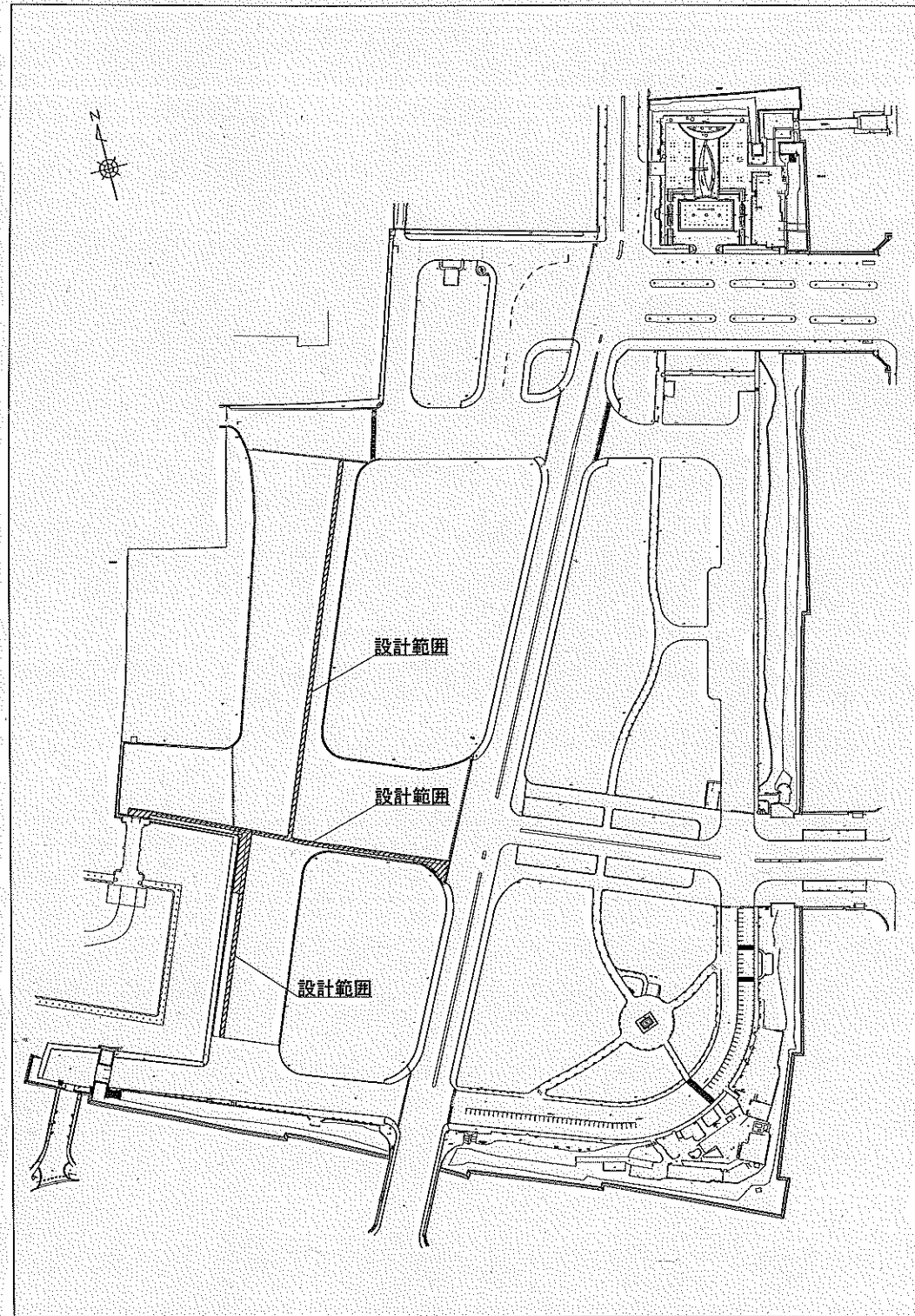
III. 工事共通図書及び参考資料

- 本工事は、本設計書の他下記の図書による。
- （1）自然公園等共通仕様書（自然公園編）（環境省）
- （2）土木工事共通仕様書（国土交通省）
- （3）土木工事必携 土木共通仕様書（関東地方整備局）

IV. 特記事項

1. 特記すべき地域事項の概況

- ☐ 自然公園法による地域地種区分
公園 地域（地区）
- ☐ 自然公園法による車馬の乗入れ規制区域
- ☐ 鳥獣保護及狩猟ニ関スル法律による鳥獣保護区、特別保護区域
- ☐ 文化財保護法による史跡名勝天然記念物
森林法による保安林
- ☐ 海岸法による海岸保全区域
- ☒ 旧皇室苑地の運営に関する件による国民公園



凡 例

	設計範囲
--	------

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	案内図・特記仕様書(1)	縮尺	A1:1/1000 A3:1/2000
年月日	平成27年11月 日	図面番号	1 / 5
会社名		照査	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	照査	設計

特記仕様書（2）

2. 一般共通事項

- ☒ 工事現場の見やすい場所に、工事名・工事目的・工事期間・事業主体名・工事請負者名・現場責任者名・電話番号を記した標示板を設置する。標示板は工事に関する情報を分かりやすく提供するように内容については、監督職員と協議のうえ、決定する。
- ☒ 資材置場、仮設事務所の設置に際しては、監督職員等の指示を受ける。
- ☒ 工事実績情報の登録を行う。
- ☒ 工事に係る仮設については次の点に留意するとともに、その施工方法については事前に監督職員等と協議し承諾を受ける。
- （1）作業場数や資材置場数が必要な場合は、原則として植栽地外を利用することとする。
- （2）利用や景観にも十分配慮した位置や仕様とする。
- ☐ 監督職員事務所を設ける。（規模及び仕上げの程度は現場説明書による。）
- ☒ 工事用水及び工事用電力使用の際は、提供するものとする。
- ☐ 工事揚水及び工事電力は請負者の負担とする。
- 構内既存設備（☐利用できる ☐利用できない）
- ☒ 工事に伴う安全管理については、関連法規を厳守し万全を期す。
- ☒ 施工に先立ち、工事共通図書を充分熟読し、工事計画書を立案する。
- ☒ 現場代理人は当該主旨を充分理解したうえで、工事に携わる全ての作業員に浸透するよう指導する。
- ☒ 1. の法令による制限事項等がある場合は、法令の規定の遵守方法について監督職員に指示を受ける。
- ☐ 希少な動物の生息が認められた場合には、直ちに監督員等と協議し、その個体及び生育環境の保全のための適切な措置を講じる。
- ☒ 施工については、利用者の動向に配慮し、利用者への支障を最小限とした施行計画のもとに実施する。
- ☒ 周辺の環境および自然環境等に影響を及ぼすおそれがある場合は、施工時期および施工時間帯について監督職員等と協議のうえ、設定する。
- ☐ 本工事の着工にあたり、既設物、地盤高等の確認のための現況測量を行い、その結果を監督職員に報告する。
- ☒ 設計図書に疑義が生じた場合又は、明示のない場合は、書面をもって通知し、監督職員と協議（監査職員の指示により設計部門との直接協議する場合を含む。）のうえ、内容を確定する。
- ☒ 施工上の納まりまたは取り合い関係で、材料、寸法、取り付け位置、取り付け工法等について軽微な変更および測量誤差に起因する地盤高さ、建物位置、道路、水路、配管等の軽微な変更は、監督職員と協議する。協議の結果は、記録し、監督職員に提出する。なお、これらは、原則として現場処理とする。
- ☒ 仕様書および本図書に記載がなくとも、本工事を遂行するうえで当然必要な施工上の事項については請負者の負担にて処理する。
- ☒ 工事範囲内の占用物件等については、埋設状況等を把握し、これに損傷を与えないように十分に注意して施工する。
- ☒ 施工に先立って、既に損傷を受けている箇所について調査し、その結果を監督職員に報告する。
- ☒ 本工事分と既設部分とのすり付けは、なじみ良く仕上げる。
- ☒ 本設計図書に記載のない既設物の解体・撤去の際は、写真撮影を行い形状寸法・数量を監督職員に報告し、承諾を得てから、解体・撤去を行う。
- ☒ 本工事で生ずる発生材は、形状寸法・数量を監督職員に報告し、指示に従って措置する。
- ☒ 各種製品、石材、タイル、樹木、その他監督職員等の指示する材料は、「材料承諾願」提出時に見本品を提出し監督職員等の承諾を得る。
- ☐ 工場製品あるいは現場加工品の色彩については、別途「色彩計画書」による他図面に明示されていない場合、監督職員等と協議し色彩を確定する。
- ☒ コンクリートミキサーの清掃により生じる汚濁水の処理については、原則として、苑外まで搬出し処理することとする。
- ☒ 残土、表土等のダンプトラック運搬に関しては、必ずシート掛けを行う。
- ☒ 掘削土砂等の材料を仮置きする場合は、降雨等により周辺に流失することのないように、土壌積みやシート掛け等の適切な対策を講じる。
- ☒ 苑内でのたき火等は禁止とする。
- ☒ 常に、資材および作業機械・工具の整理整頓に努めるとともに、吸い殻、ゴミの管理は徹底する。
- ☒ 既存測量杭がある場合は、工事中、必要に応じて引照点をとるなどして大切に扱う。
- ☐ 本工事で使用する植栽樹木について植樹保険に加入し、加入証書の写しを提出する。
- ☒ 国等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律第100号、通称「グリーン購入法」）に基づく、環境物品等調達の推進に関する基本方針〔以下「基本方針」という。〕において位置づけられた、「特定調達品」に該当する材料及び建設機械等は、原則として基本方針に定める判断基準を満足するものを使用することとする。なお、やむを得ず判断基準に満たないものを使用する場合は監督職員の承諾を得るものとする。
- また、該当する使用資材・建設機械を工事完了時に、特定調達品目（公共工事）調達実績集計表を作成し、提出する。
- ☒ 本工事は、特定建設資材を用いた建設物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事であって、その規範が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
- 工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

☐ 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 （ ）	その他の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

☒ 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート	請負者にて決定のこと	
アスファルト	請負者にて決定のこと	
木材	請負者にて決定のこと	

- ① 受け入れ時間帯 （ ） 処理場： 時 分～ 時 分
（ ） 処分場： 時 分～ 時 分
（ ） 処分場： 時 分～ 時 分

② その他

☒ 請負者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

☐ 本工事は「建設副産物情報交換システム」（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時、及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。監督職員への報告はシステムにより作成した〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕により行うものとする。

☐ 本工事の施工にあたっては、「建設工事における建設副産物管理マニュアル」のうち「3施工編」に従い適切な処理に努めるものとする。

☐ ① 間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であり、かつ、それ以外の原料として使用される原木はその伐採に当たって生産された国における森林に関する法令に照らし合法な木材であること。

② 外の場合は、間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木以外の木材にあたっては、原料として使用される原木はその伐採に当たって生産された国における森林に関する法令に照らし合法な木材であること。

☐ 木材の加圧保存処理は、JIS A 9002「木質材料の加圧式保存処理方法」に準拠すること。保存剤の吸収量及び浸潤度は、AQ 又はJAS で定める基準に準拠すること。

☒ 設計図縮小版〔・A3版・3部〕を製本し、（表紙、及び背表紙には、年度、工事名等を明朝体で記入）、監督職員に提出する。なお、費用については請負者の負担とする。

☒ 完成図のサイズは（☒A1 ☒A3 ☐_____）とし、提出する図面の種類及び記入内容等は共通仕様書及び監督職員の指示による。

☒ 完成図はCAD及びPDFにより作成し、CD-R等の電子媒体により提出する。

☐ 完成図は上記サイズの緑点キトレーシングペーパーにインク書き（鉛筆書き）とする。

☒ 完成写真はカラー（☐キャビネ版 ☐_____）で（☐2 ☐_____）部提出する。

ただし、原板は撮影者の保管とする。

☒ 再生クラッシャーランは、木材等のごみの混入のない材料を調達し、品質管理資料と材料見本を監督職員に提示し、承認を得ること。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	特記仕様書(2)	縮尺	
年 月 日	平成27年11月 日	図面番号	2 / 15
会社名		図案	設計
事務所名	環境省自然環境局長官邸外苑管理事務所	図案	設計

特記仕様書（3）

3. 土工

- ☐ 残土処分に当たっては、その搬出先の現況測量を行い、現況図を作成した後、残土搬入、敷均し等を行う。また、搬出完了後、出来形図を作成し監督職員等に提出する。
- ☐ 植栽地に対して必要以上の機械の出入りは避け、土壌の固結防止を図る。
- ☐ 盛土工に当たっては、現況地盤と盛土部との間に滞水層ができないように注意を払う。
- ☒ 掘削工に当たっては、特殊土壌（土丹、礫、固結粘土等）が出現した場合は監督職員とその措置を協議する。
- ☐ 法尻、法肩、築山などについては、ラウンディング等の造形的な処置を施す。なお、監督職員等の指示する主要な部分の施工図を提出し監督職員等の承諾を得る。
- ☐ 客土の運搬および敷均しについては、雨天後の含水比の高い状態での作業を行ってはならない。また、重機による巻きだし、押土による移動は、出来る限り制限する。
- ☒ 掘削にあたっては、既設埋設物を破損しないように事前に調査する等留意し、障害物等が発見された場合は、監督職員と協議する。
- ☒ 搬出する土砂は、地域生態系保全の観点から、雑草等の混入のないものとする。
- ☐ 張り芝部への客土は、マサ土と山砂を混合した土を使用する。
- ☐ 客土材は案内図に示す位置に仮置されている表土（搬入土）または、良質土（購入土）とする。表土と良質土の使い分けは下記による。

- 表土： _____ 良質土： _____
- ☒ 残土は次の処理場への運搬搬入するものとするが、敷均しは請負業者において行うとともに土量が確認できるよう必要な資料を整備するものとする。
- （1） 受け入れ先の名称、所在地
請負者にて決定のこと
- （2） 距離 _____ 片道 _____ km
- （3） 土量 _____ m³

4. 無筋・鉄筋コンクリート

- ☐ 鉄筋の種類は下記による。

鉄筋名称	種類	径 (mm)	適用箇所
異形鉄筋	SD295A		
	SD345		
	SD390		
小型丸鋼	SR235		

- ☐ 鉄筋圧接完了後の試験は超音波探傷試験とする。
- ☐ 鉄筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 Fc (N/mm ²)	適用箇所

- ☐ 無筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 Fc (N/mm ²)	適用箇所
18N	側溝基礎

- ☐ セメントの種類は下記による。

種類	適用箇所
普通ポルトランドセメント	
高炉セメント	側溝基礎
フライアッシュセメント	

- ☒ 型枠に使用するせき板の材質は複合合板を原則とし、それ以外を使用する場合は監督職員との承諾を得るものとする。

5. 施設整備工

- ☐ 路床の支持力が弱いと思われる部分については監督職員と協議し、その指示にしたがって改良を行う。
- ☐ 石材・平板・レンガ・タイル等の舗装については、設計図に基づいて割り付け図を作成し（伸縮目地を含む）監督職員との承諾を得る。
- ☒ 舗装の水勾配の設定に当たっては、設計図に基づいて施工図を作成し監督職員との承諾を得る。
- ☐ インターロッキングブロック等の敷き砂にて施工する舗装工事において、人孔、集水桝、照明灯及び植栽地と隣接する部分は、モルタル止めとする。また、勾配が急な箇所の敷き砂、そのほか監督職員からの指示する箇所は、モルタル空練りとする。
- ☒ 構造物等の周辺の舗装との取り合い部については転圧不足にならないように念入りに行う。（転圧が不足な場合等は路床改良を行う。）
- ☒ 監督職員の指示する舗装は試験施工を行い、承諾を得てから施工する。
- ☒ 施設工事に使用する石材については、加工図、納まり図等必要に応じ施工図を監督職員に提出し、承諾を得る。
- ☐ コンクリート構造物の天端・角部は、特記のない限り面取りを施す。
- ☐ 施設等の構造物設置に当たって、基礎地盤が軟弱で所定の支持力が得られない場合は、監督職員と協議し適切な措置を行う。
- ☐ 石積工事に当たっては、水抜き穴の設置箇所・伸縮目地の設置箇所について割り図を作成し監督職員との承諾を得る。また、石積の目地は深目地とし、セメントの付着した部分はその日のうちに洗い流す。
- ☐ 使用する木材は、下記の強度を有し、割れ・狂いの少ない木材とする。

圧縮強度 (N/mm ²)	引張り強度 (N/mm ²)	曲げ強度 (N/mm ²)	せん断強度 (N/mm ²)
16.8	10.2	16.8	1.8

- ☐ 木材の工事現場搬入時の含水率は、全断面の平均推定値 20 % 以下とする。ただし屋外で使用するもの等、あらかじめ監督職員との承諾を受けた場合はこの限りではない。
- ☐ その他の部分に使用する木材は、日本木材保存協会認定加圧注入防腐処理、および表面撥水性木材保護塗装処理とする。
- ☐ 木材の仕上げはプレーナー仕上げを標準とし、高欄、柵のトップレールはサンドペーパー仕上げとする。また、デッキのスロープ部および渡りデッキはノンスリップ加工とする。
- ☒ 施設の設置に際しては、図面に従うものとするが据え付けの納まりに関しては監督職員の指示に従う。
- ☐ 案内板、指示標識等の設置に際しては、図面に従うものとするが、設置の方向、案内図のデザイン等に関しては、監督職員からの指示に従う。
- ☒ 当該工事により、従来舗装下にあった縁石が表出する場合は、縁石の汚れを洗浄等の方法によりきれいに落とし、美しい皇居外苑の景観を創出すること。

6. 植栽工

- ☐ 樹木の植付けに当たっては、各樹木の形状・樹姿の特徴を確かめ周囲の状況を考慮して見栄え良く植え込む。また、支柱の向きにも配慮する。
- ☐ 植え込みの指示がある場合は、指定寸法に景姿良く仕上げる。
- ☐ 植穴の掘削に当たって、湧水、滞水、障害物等、樹木の生育を阻害する土壌状態が確認された場合は、監督職員と協議し適切な措置を行う。
- ☐ 低木植え込みの端部は、下枝が上がらないように前面の一行はやや前側に倒して植え付ける。
- ☐ 平坦地に張り芝および播種を行う場合は、地表面にラウンディングを施し、表面排水勾配を確保し、植栽地の滞水を防ぐ。
- ☐ 樹木植栽地における芝張りの範囲は、高木については水ぎめ、または土ぎめを行った水鉢の内側までとし、低木については樹種に応じて芝張りが可能な部分とする。
- ☐ 樹木の形状寸法は最小限度を示し、工事完成時点のものを言うが、その許容上限は監督職員と協議のうえ決定する。
- ☐ 樹木材料の長距離輸送に際しては、蒸散抑制剤を使用するとともに、輸送トラックのシート掛け、中間地点での散水等を行い、乾燥を防止する。入荷した樹木材料は、速やかに植え付け、水ぎめを行い仮支柱を打って養生する。
- ☐ 常緑樹（高・中木）に対する冬季の防寒・乾燥養生を必要に応じて行う。
- ☐ 樹木材料については、入荷前に材料検査を受けるか、入荷後においても監督職員により抜き取り検査を受ける。また、根巻きを外し、根の良否、病虫害等のないことを確認のうえ、植え付ける。
- ☐ 支柱の防腐処理の仕様は下記とする。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	特記仕様書(3)	図尺	
年 月 日	平成27年11月 日	図面番号	3 / 15
会社名		調査	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	図案	設計

特記仕様書（４）

7. 給水工

- ☐ 給水管の土被りは、特記なき場合は歩道・管理者用通路・植栽地は0.6m確保し、一般車両通路は1.2m確保する。
- ☐ 他の埋設物と交差・近接する場合は、監督職員と協議し適切な処置を行う。

8. 排水工

- ☒ 排水管等の掘削に当たっては、事前に既設埋設管の調査を行い、既設埋設管の損傷を防止する。
- ☒ 側溝・枦等と他の施設（舗装、石積、縁石等）との取り合いは、なじみよく仕上げる。
- ☒ 既設マンホール蓋の天端は、周辺舗装との取り合いをなじみよく仕上げる。必要が生じた場合は高さの調整を施す。
- ☐ 本管への穴開けは機械穿孔とする。
- ☐ 既設人孔への暗渠管取り付けの際は、人孔及び既存取付管に対して細心の注意を払い施工すること。

9. 電気工

- ☐ 電線管の埋設に当たって、将来接続を予定している端部は、地上部まで立ち上げ蓋止めとしてその位置を明示する。
- ☐ 電線管の土被りは、特記なき場合は0.6m確保、一般車両通行部は1.2m確保する。
- ☐ 電線管の接続は、電線管内に浸水しないように堅固に行う。
- ☐ 電線管、ハンドホール等の敷設は、他の埋設物および構造物や植栽と交差、近接する場合は監督職員と協議し、適切な措置を行う。
- ☐ 電線管、灯柱等の設置は、他の構造物および植栽（特に高木との隔離）との取り合いに十分注意する。

10. 安全対策

- ☒ 施工日は、平日（土日、祝日を除く）を原則とする。
- ☒ 施工時間帯は、昼間施工（8：30から17：15まで）を原則とする。また、監督職員と協議のうえ、前後延長可能とする。
- ☒ 施工日数は10日程度を想定しており、この期間必要箇所に適宜ガードマンを配置すること。
- ☒ 夜間施工は19:00～翌朝6:00までを原則とする。
- ☒ 施工場所は、砂利広場地区であり、皇居外苑内で国内外の観光客が最も多いエリアである。そのため、工事期間中は苑内利用者に対して、多言語表記の工事用立て看板を設置し、注意喚起を行うと共に、できる限り工事の影響が少なくなるよう、十分な安全対策を講じるとともに、内堀通りの歩行者・自転車に対しても十分配慮して施工すること。
- ☒ 施工場所は、定期的に宮内庁の馬車が通行する場所である。そのため、馬車が通行する場合は、宮内庁の指示に従い速やかに工事を中断し、馬に配慮すること。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	特記仕様書(4)	冊 尺	
年月日	平成27年11月 日	図面番号	4 / 15
会社名		用 途	設 計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	用 途	設 計

縮尺 A1:1/ 600
縮尺 A3:1/1200

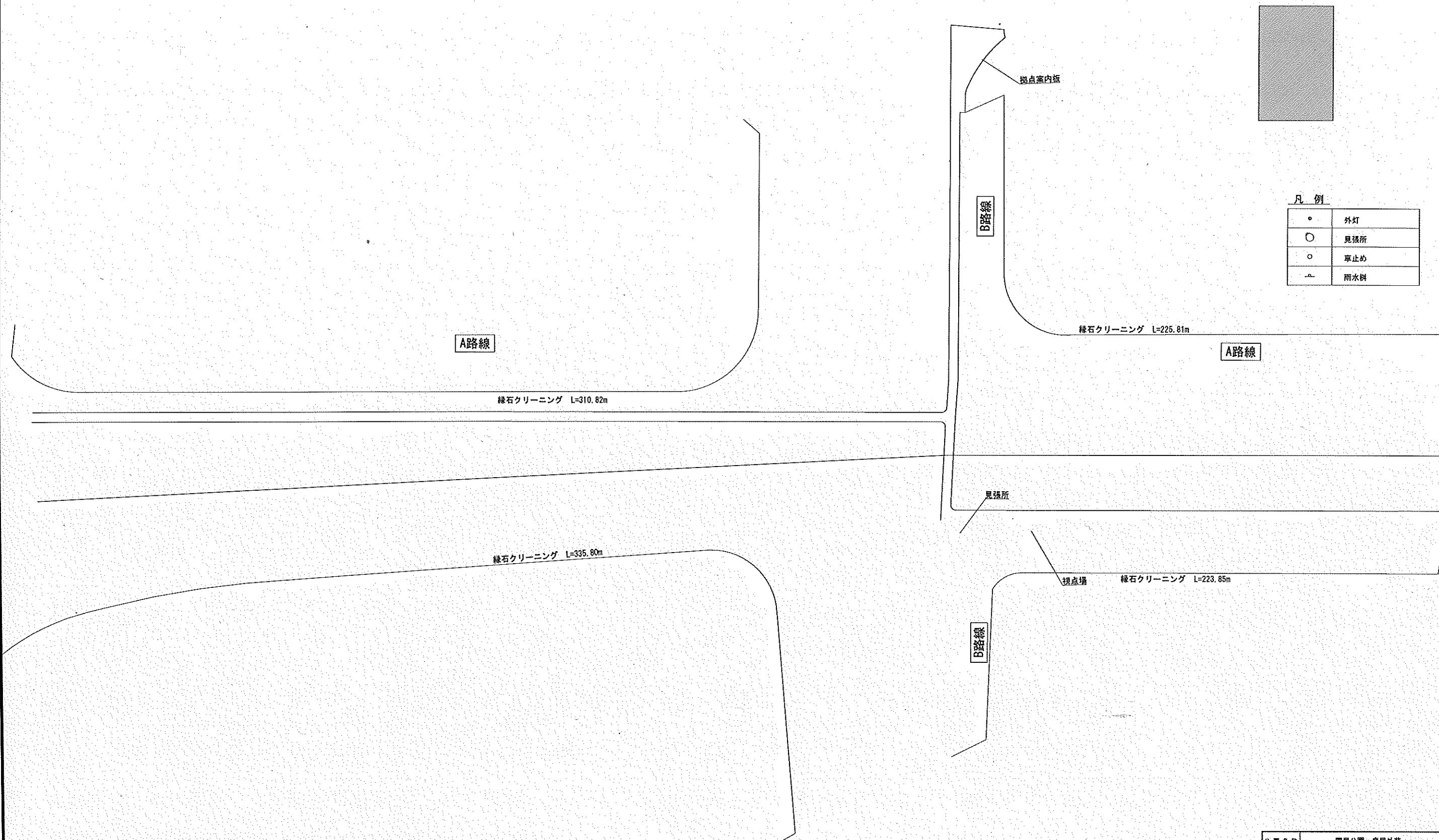


公園名稱	國民公園 皇居外苑		
工事名稱	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	現況図	縮尺	A1:1/600 A3:1/1200
年月日	平成27年11月日	図面番号	5 15
会社名		照査	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	照査	設計

注) ・測点位置、測線は「平成11年皇居外苑砂利広場測量(環境省より受領)」によるもので、座標位置資料は不明である。
・本設計では、測点位置、測線は横断図位置を示す参考資料として用いる。

全体計画平面図

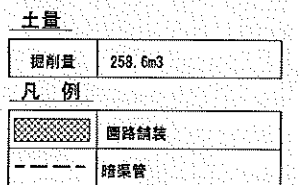
縮尺 A1:1/ 600
縮尺 A3:1/1200



注) ・測点位置、測線は「平成11年皇居外苑砂利広場測量(環境省より受領)」によるもので、座標位置資料は不明である。
・本設計では、測点位置、測線は横断面図位置を示す参考資料として用いる。
・B路線 No. 6付近の舗装端部は、幅4mの範囲でなめらかに現況地盤にすり付けること。
・緑石クリーニングについては、坂下門・桔梗門地区と同様スチームを用いた方法を採用すること。
・クリーニングの際発生した汚水は雨水と混ざらないよう適切に処理し、濫への流入を避けること。

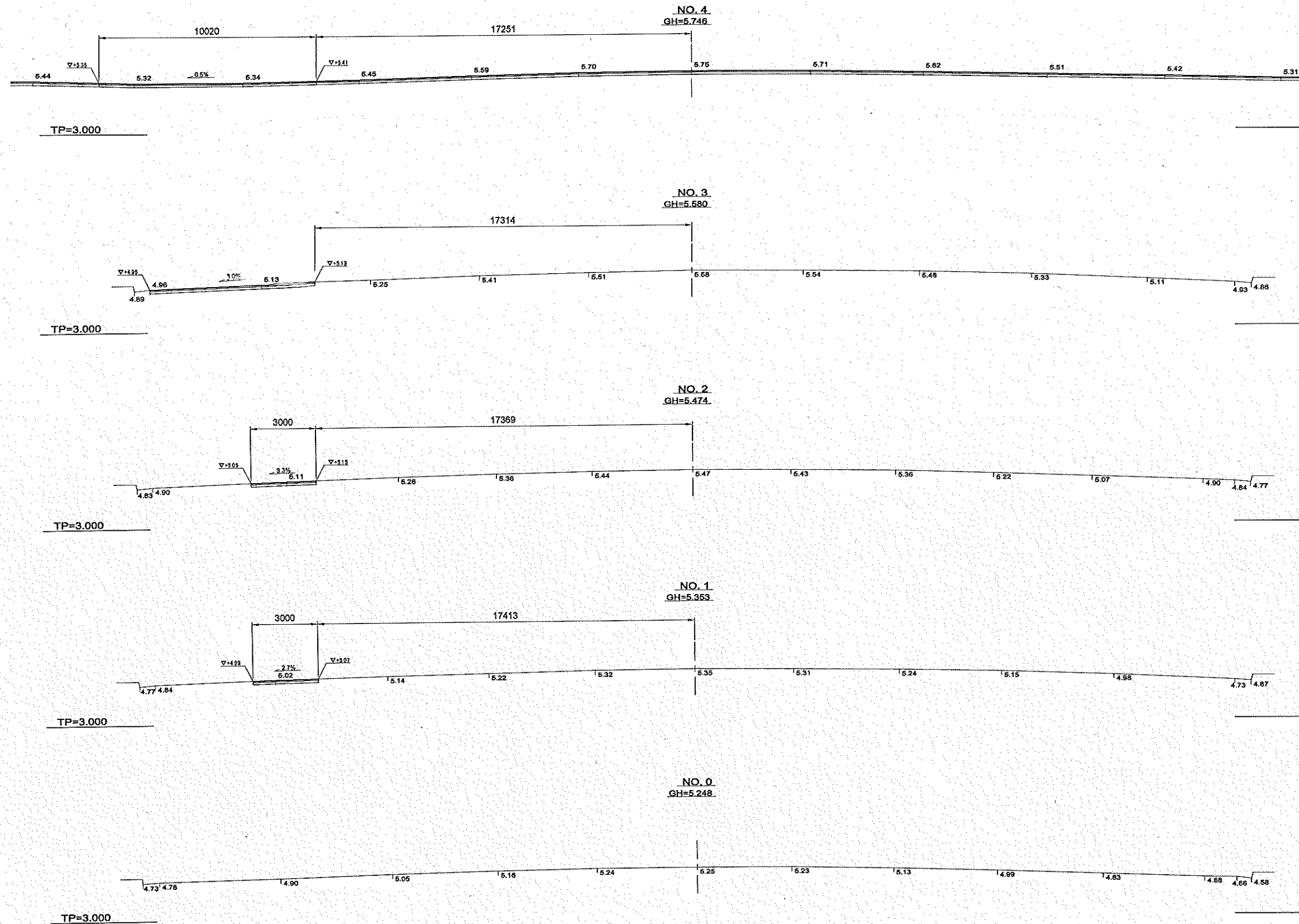
公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	全体計画平面図	縮尺	A1:1/600 A3:1/1200
年月日	平成27年11月 日	図面番号	6 / 15
会社名		調査	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	調査	設計

縮尺 A1:1/ 600
縮尺 A3:1/1200



公園名稱	國民公園 皇后外苑		
工事名稱	平成27年度 皇后外苑砂利広場塙路舗装工事		
圖面名稱	舗装計画平面図	縮尺	A1: 1/800 A3: 1/1200
年月日	平成27年11月 日	図面番号	7 / 15
会社名		預金	設計
事務所名	東京都自然環境局皇后外苑管理事務所	用表	設計

園路横断面図 (A路線) (1) 縮尺 A1:1/500 縮尺 A3:1/1000

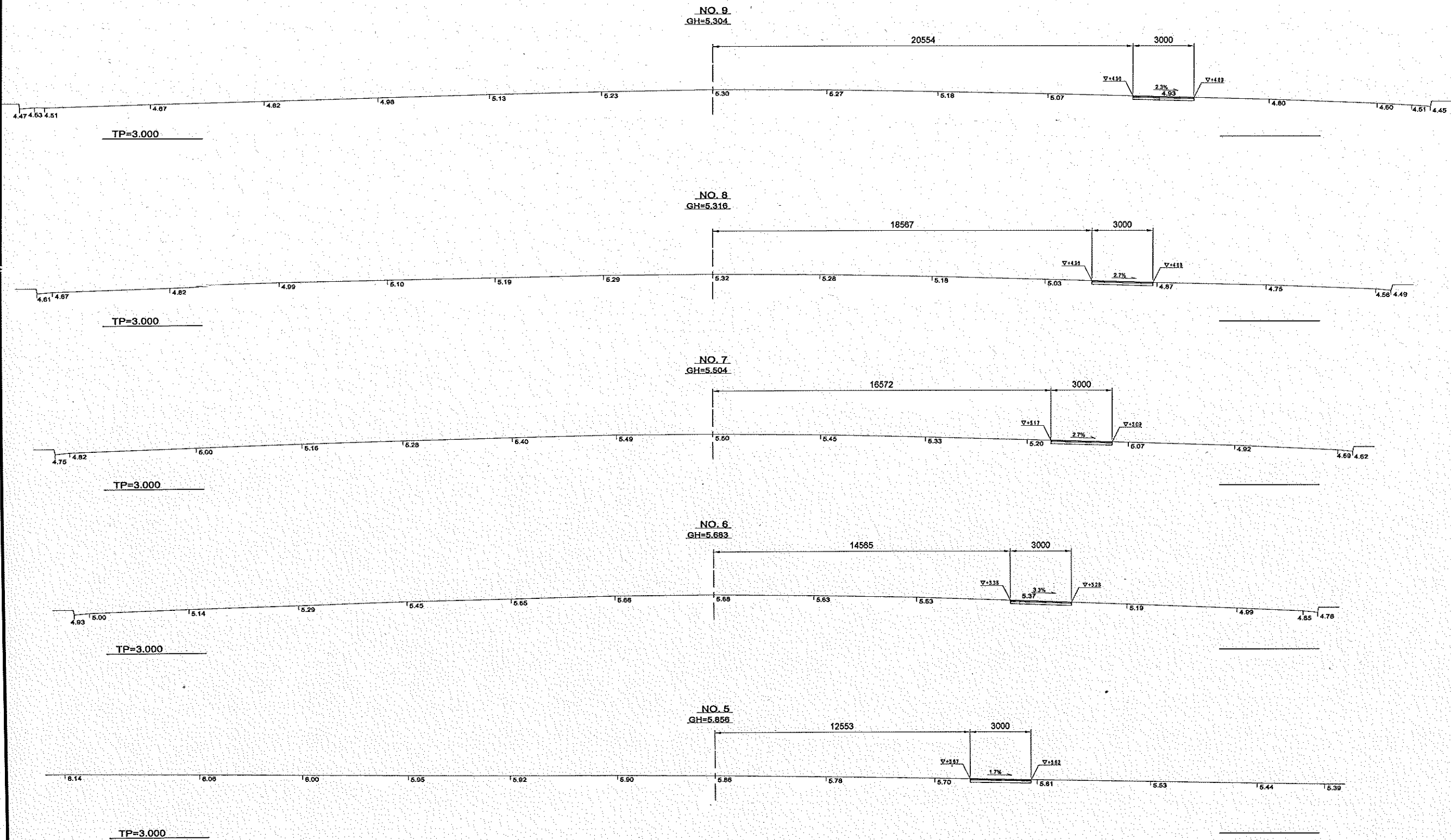


注) ・本設計図に示す高さは「平成11年皇居外苑砂利広場測量(環境省より受領)」によるものであり、新設園路舗装が既存砂利敷の高さに段差なくなめらかにすりつけることを示すものである。
 ・施工にあたり、計画地の現況測量を行い、現況高さを把握し、設計図に反映し、監督職員の承認を得ること。

※高さはTP標示とする。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	園路横断面図 (A路線) (1)	縮尺	A1:1/500 A3:1/1000
年月日	平成27年11月 日	図面番号	B 15
会社名		図案	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	図案	設計

園路横断図 (A路線) (2) 縮尺 A1:1/500 縮尺 A3:1/1000

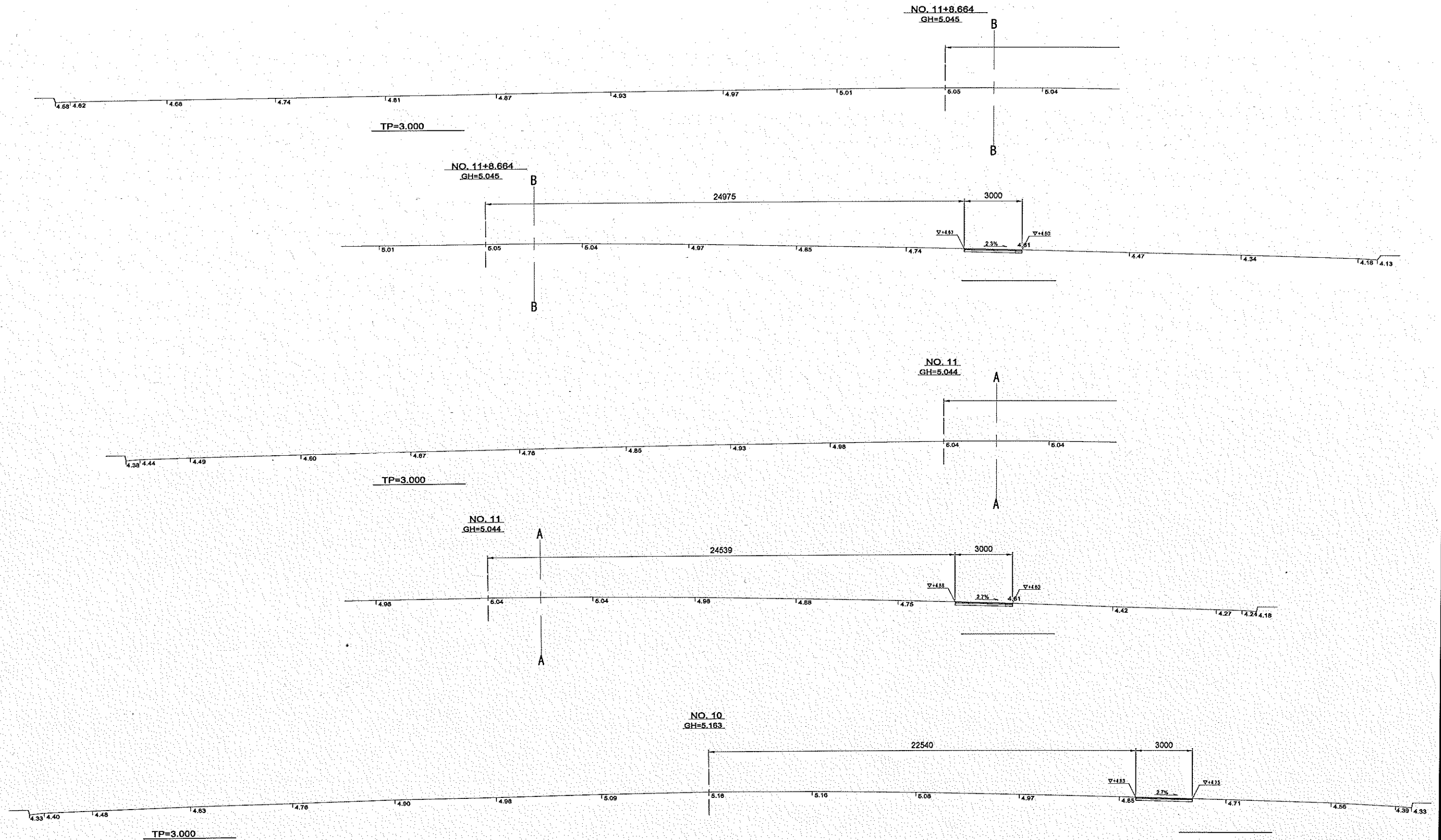


注) 本設計図に示す高さは「平成11年皇居外苑砂利広場測量(環境省より受領)」によるものであり、新設園路舗装が既存砂利敷の高さに段差なくなめらかにすりつけることを示すものである。
 ・施工にあたり、計画地の現況測量を行い、現況高さを把握し、設計図に反映し、監督職員の承認を得ること。

※高さはTP標示とする。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	園路横断図 (A路線) (2)	縮尺	A1:1/500 A3:1/1000
年月日	平成27年11月 日	図面番号	9 / 16
会社名		調査	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	調査	設計

園路横断図 (A路線) (3) 縮尺 A1:1/500 縮尺 A3:1/1000



注) ・本設計図に示す高さは「平成11年皇居外苑砂利広場測量(環境省より受領)」によるものであり、新設園路舗装が既存砂利敷の高さに段差なくなめらかにすりつけることを示すものである。
・施工にあたり、計画地の現況測量を行い、現況高さを把握し、設計図に反映し、監督職員の承認を得ること。

※高さはTP標示とする。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	園路横断図 (A路線) (3)	縮尺	A1:1/500 A3:1/1000
年月日	平成27年11月 日	図面番号	10 / 15
会社名		調査	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	調査	設計

園路横断図 (B路線) (1) 縮尺 A1:1/500 縮尺 A3:1/1000

NO.3
GH=5.668

NO.2
GH=5.295

NO.1
GH=4.834

NO.0
GH=4.226

NO.0
GH=4.226

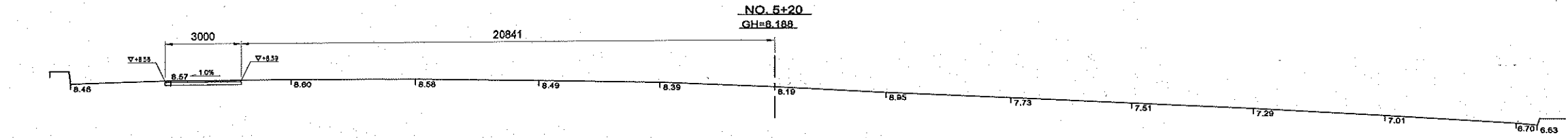
注) ・本設計図に示す高さは「平成11年皇居外苑砂利広場測量(環境省より受領)」によるものであり、新設園路舗装が既存砂利敷の高さに段差なくなめらかにすりつけることを示すものである。
・施工にあたり、計画地の現況測量を行い、現況高さを把握し、設計図に反映し、監督職員の承認を得ること。

※高さはTP標示とする。

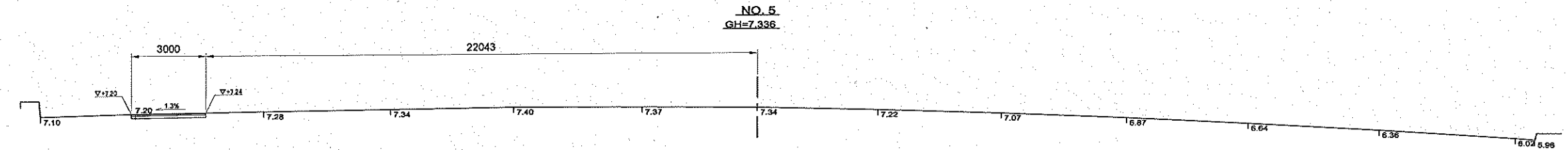
公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	園路横断図 (B路線) (1)	縮尺	A1:1/500 A3:1/1000
年月日	平成27年11月 日	図面番号	11 / 15
会社名		図案	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	図案	設計

園路横断面図 (B路線) (2)

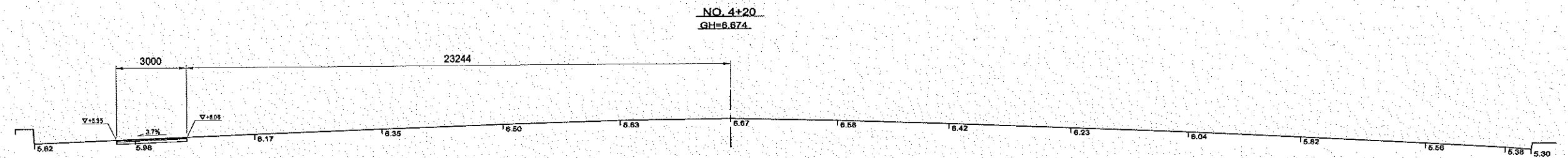
縮尺 A1:1/500
縮尺 A3:1/1000



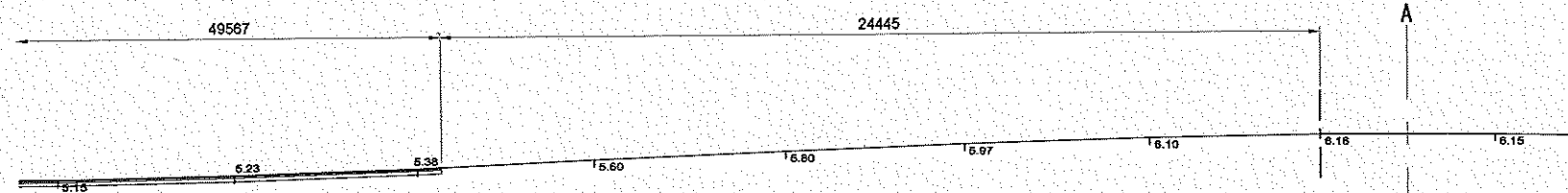
TP=3.000



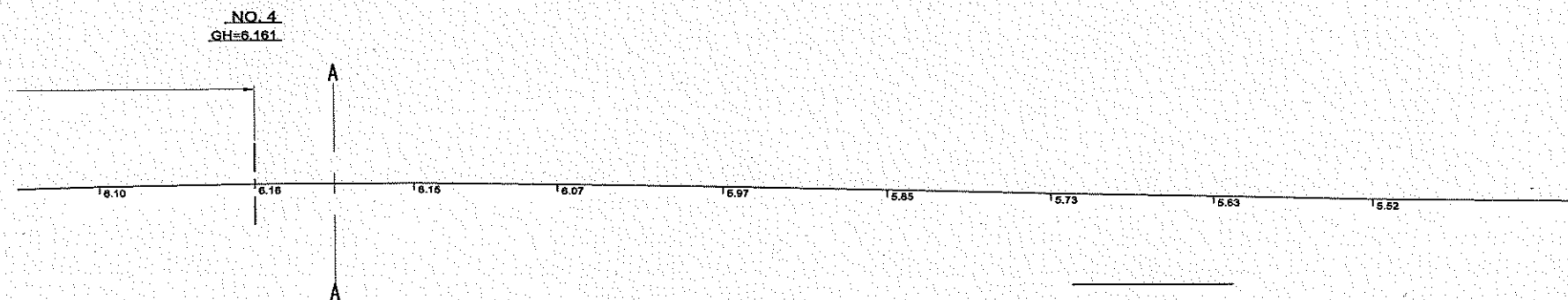
TP=3.000



TP=3.000



TP=3.000

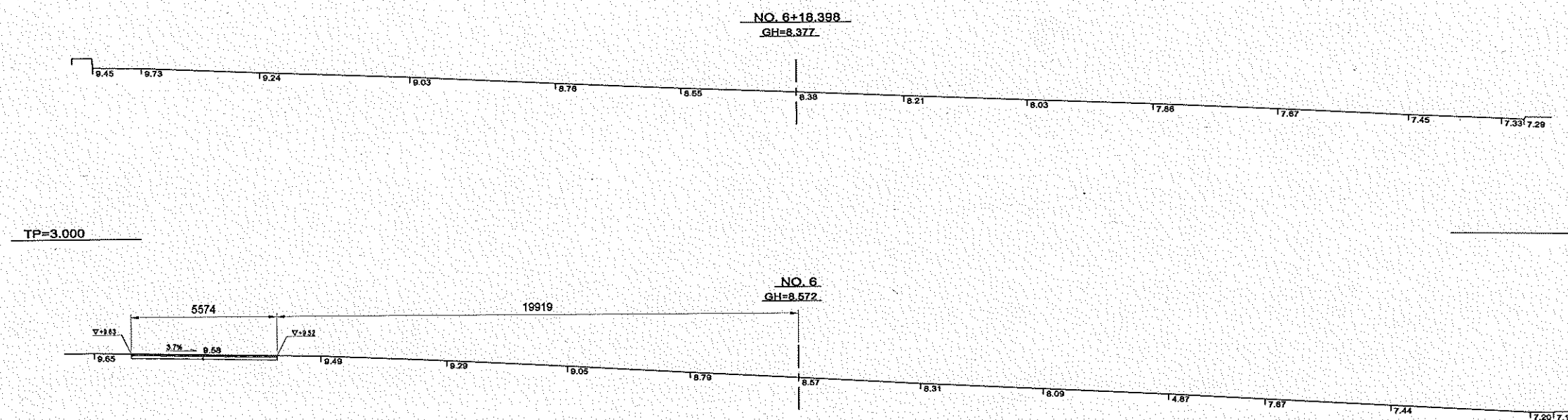


注) ・本設計図に示す高さは「平成11年皇居外苑砂利広場測量(環境省より受領)」によるものであり、新設園路舗装が既存砂利敷の高さに段差なくなめらかにすりつけることを示すものである。
・施工にあたり、計画地の現況測量を行い、現況高さを把握し、設計図に反映し、監督職員の承認を得ること。

※高さはTP標示とする。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	園路横断面図 (B路線) (2)	縮尺	A1:1/500 A3:1/1000
年月日	平成27年11月 日	図面番号	12 / 15
会社名		担当者	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	用印	校計

園路横断図 (B路線) (3) 縮尺 A1:1/500
縮尺 A3:1/1000



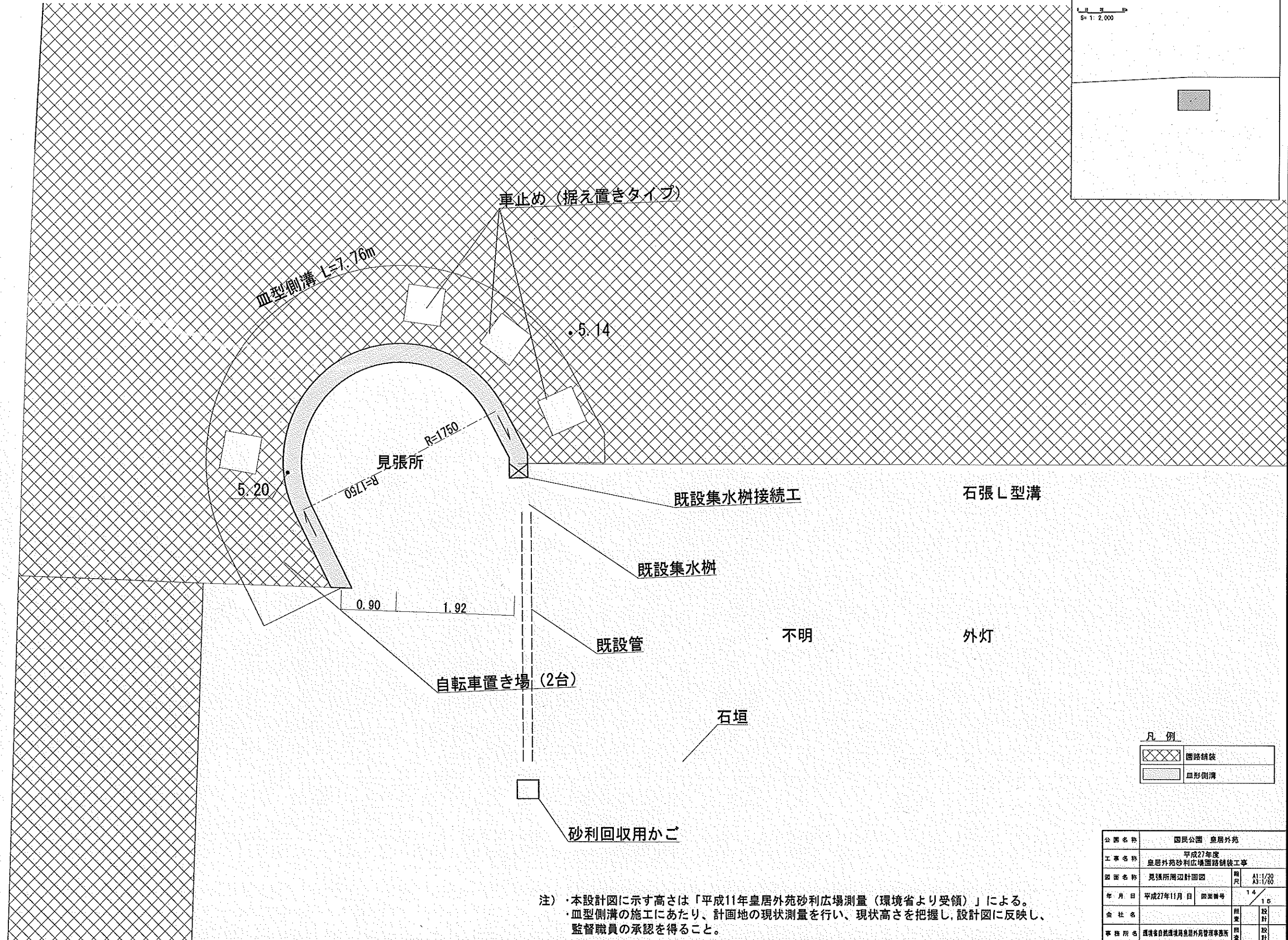
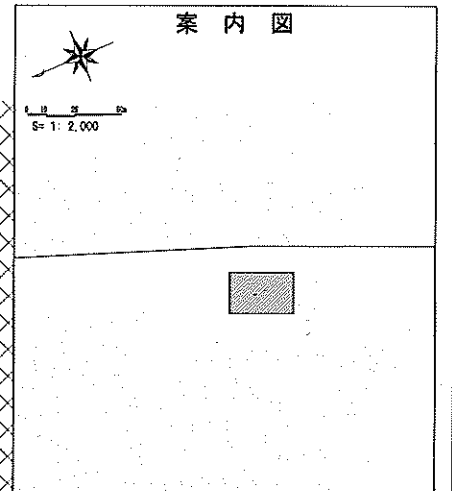
注) ・本設計図に示す高さは「平成11年皇居外苑砂利広場測量(環境省より受領)」によるものであり、新設園路舗装が既存砂利敷の高さに段差なくなめらかにすりつけることを示すものである。
・施工にあたり、計画地の現況測量を行い、現況高さを把握し、設計図に反映し、監督職員の承認を得ること。

※高さはTP標示とする。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場園路舗装工事		
図面名称	園路横断図 (B路線) (3)	縮尺	A1:1/500 A3:1/1000
年月日	平成27年11月 日	図面番号	13 / 15
会社名		調査	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	調査	設計

見張所周辺計画図

縮尺 A1:1/30
縮尺 A3:1/60

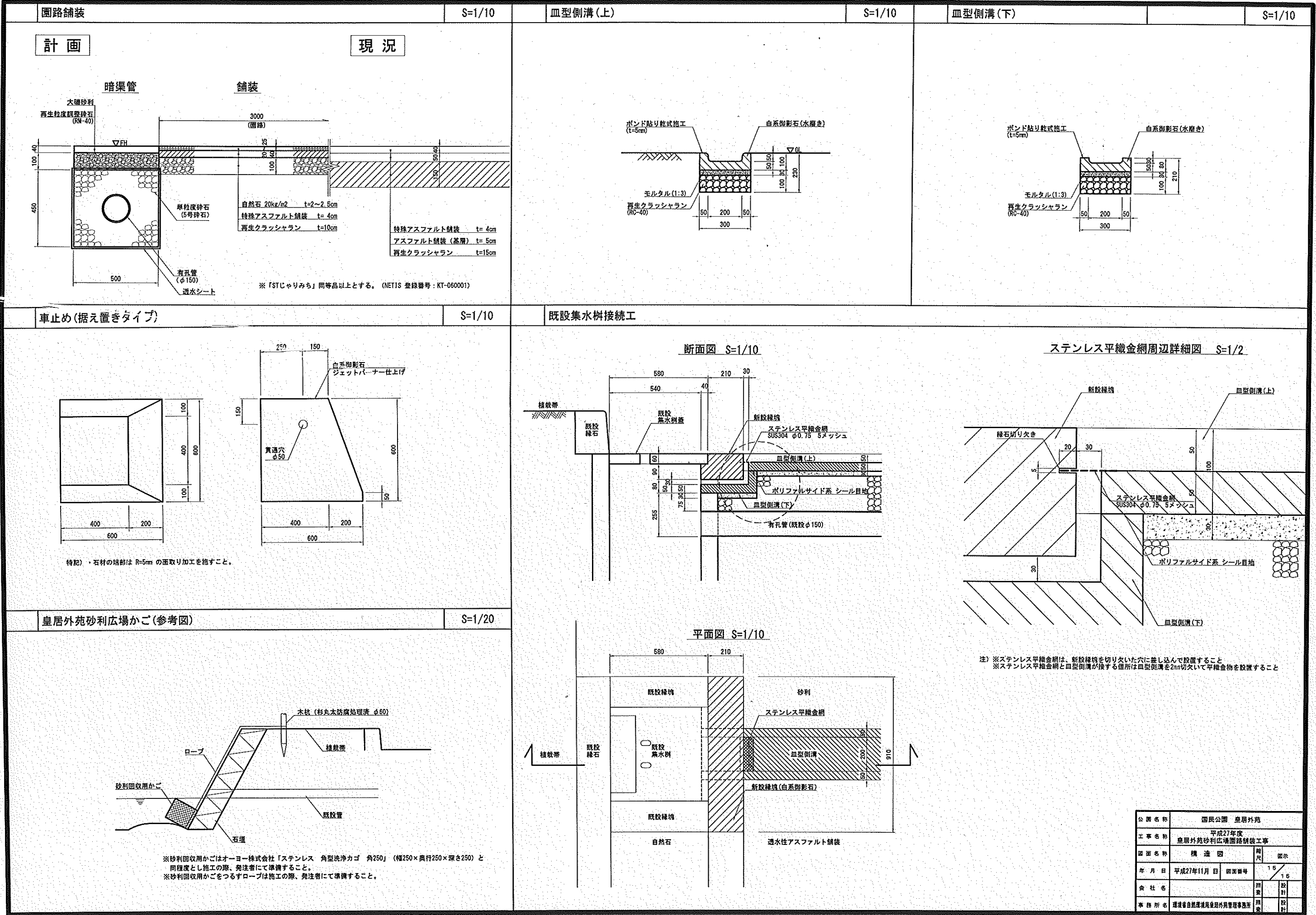


凡 例

	道路舗装
	血形側溝

注) ・本設計図に示す高さは「平成11年皇居外苑砂利広場測量(環境省より受領)」による。
・血型側溝の施工にあたり、計画地の現状測量を行い、現状高さを把握し、設計図に反映し、監督職員の承認を得ること。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場道路舗装工事		
図面名称	見張所周辺計画図	図尺	A1:1/30 A3:1/60
年月日	平成27年11月 日	図面番号	14 / 15
会社名		調査	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	調査	設計



車止め (据え置きタイプ)

S=1/10

断面図 S=1/10

250

150

白系御影石

ジェットバーナー仕上げ

貫通穴 φ50

150

400

200

600

100

400

200

600

100

特記)・石材の端部は R=5mm の面取り加工を施すこと。

断面図 S=1/10

植栽帯

既設緑石

既設集水樹蓋

新設緑地

ステンレス平織金網 SUS304 φ0.75 5メッシュ

血型側溝 (上)

ポリファルサイド系 シール目地

血型側溝 (下)

有孔管 (既設φ150)

580

210

30

540

40

60

80

90

50

75

30

255

ステンレス平織金網周辺詳細図 S=1/2

新設緑地

血型側溝 (上)

緑石切り欠き

20

30

50

100

30

ステンレス平織金網 SUS304 φ0.75 5メッシュ

ポリファルサイド系 シール目地

血型側溝 (下)

皇居外苑砂利広場かご (参考図)

S=1/20

断面図 S=1/10

植栽帯

既設緑石

既設集水樹

既設緑地

砂利

ステンレス平織金網

血型側溝

新設緑地 (白系御影石)

透水性アスファルト舗装

580

210

910

50

200

50

砂利回収用かご

ロープ

木杭 (杉丸太防腐処理済 φ60)

植栽帯

既設管

石垣

※砂利回収用かごはオーヨー株式会社「ステンレス 角型洗浄力ゴ 角250」(幅250×奥行250×深さ250)と同程度とし施工の際、発注者にて準備すること。
※砂利回収用かごをつるすロープは施工の際、発注者にて準備すること。

公園名称	国民公園 皇居外苑		
工事名称	平成27年度 皇居外苑砂利広場舗装工事		
図面名称	構造図	縮尺	図示
年月日	平成27年11月 日	図面番号	15 / 15
会社名		調査	設計
事務所名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所	調査	設計

アスファルト舗装版破碎工

第1号明細書

明細書

1

[illegible]

アスファルト舗装版破碎工（夜間）

1

明細書

[illegible]

舖裝工
撤去工
殼運搬處理

明細書

第3号明細書

1

[illegible]

ポール型車止め撤去処分

第5号明細書

明細書

1

[illegible]

舖裝工
土工
掘削積込

明細書

第6号明細書

1

[illegible]

土工

明細書

第7号明細書

1

[illegible]

鋪裝工
土工
床掘

第8号明細書

明細書

1

[illegible]

工裝舖
工土
戾埋

第9号明細書

明細書

1

[illegible]

残土運搬処分

明細書

第10号明細書

1

[illegible]

第11号明細書

1

[illegible]

舖装工

鋪装工

路盤工 (夜間)

明細書

第12号明細書

1

[illegible]

舖裝工
舖裝工
基層・表層

明細書

第13号明細書

1

[illegible]

舗装工
舗装工
表層・基層（夜間）

明細書

第14号明細書

1

[illegible]

舗装工
付属施設工
皿型側溝

明細書

第15号明細書

1

[illegible]

舗装工
付属施設工
車止め

明細書

第16号明細書

1

[illegible]

舗装工
付属施設工
既設集水桝接続工

明細書

第17号明細書

1

[illegible]

舗装工
付属施設工
暗渠管工

明細書

第18号明細書

1

[illegible]

舗装工
付属施設工
暗渠管工（夜間）

舗装工
付属施設工
暗渠管工（夜間）

舗装工
付属施設工
暗渠管工（夜間）

明細書

第19号明細書

1

[illegible]

共通仮設費計

安全費

明細書

[illegible]

内 訳 書

Page 1

工事区分	工種	種別	細別	細別規格	名称・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
道路修繕										
舗装工						式	1.000			
撤去工						式	1.000			
アスファルト舗装版破碎工						式	1.000			第1号明細書
バックホウによる直接掘削積込 舗装版厚 10cm以下						m ²	1,686.000			
アスファルト舗装版破碎工（夜間）						式	1.000			第2号明細書
バックホウによる直接掘削積込 舗装版厚 10cm以下						m ²	200.000			
殻運搬処理						式	1.000			第3号明細書
廃材運搬工(ダンプトラック10t積) ダンプ 10t積 DID有り L=16.5km以下						m3	152.000			
処分費 アスファルト塊						m3	170.000			

内 訳 書

Page 2

工事区分	工種	種別	細別	細別規格	名称・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
					車止め石移設復旧工	式	1.000			第4号明細書
					石移設復旧工 6個分	回	2.000			
					ボール型車止め撤去処分	式	1.000			第5号明細書
					ボール型 Φ300、L=1000、花崗岩稲田石	本	2.000			
					据付工 基礎共	本	2.000			
					土工	式	1.000			
					掘削積込	式	1.000			第6号明細書
					バックホ掘削積込(地山) 山積0.8m3平積0.6m3 け質土・砂・砂質土・粘性土, 障害無	m3	207.000			
					基面整正 (床付面の整正作業)	m ²	2,174.000			
					掘削積込 (夜間)	式	1.000			第7号明細書

内 訳 書

Page 3

工事区分	工種	種別	細別	細別規格	名称・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
					バックホ掘削積込(地山) 山積0.8m3平積0.6m3 け質土・砂・砂質土・粘性土, 障害無	m3	52.000			
					基面整正 (床付面の整正作業)	m ²	423.000			
					床掘	式	1.000			第8号明細書
					バックホ床掘, 山積0.45m3[平積0.35m3] け質土・砂・砂質土・粘性土, 障害無	m3	205.000			
					埋戻	式	1.000			第9号明細書
					埋戻工 C 1m≤最大埋戻幅<4m 締固め機械: 振動ロー0.8~1.1t、タンパ	m3	1.400			
					残土運搬処分	式	1.000			第10号明細書
					ダンプ運搬(10t車バックホウ積込)(土砂) BH0.8 ダンプトラック 10t積 DID有り L=11.0km以下 良好	m3	462.000			
					処分費	m3	462.000			
					舗装工	式	1.000			

内 訳 書

Page 4

工事区分	工種	種別	細別	細別規格	名称・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		路盤工				式	1.000			第11号明細書
		不陸整正（車道）	補足材無し			m ²	2,174.000			
		路盤工（歩道）				m ²	2,174.000			
		1層	t=10cm	30～0mm		m ²	2,174.000			
		路盤工（夜間）				式	1.000			第12号明細書
		不陸整正（車道）	補足材無し			m ²	423.000			
		路盤工（歩道）				m ²	423.000			
		1層	t=10cm	40～0mm		m ²	423.000			
		基層・表層				式	1.000			第13号明細書
		特殊アスファルト舗装（じやりみち）				m ²	2,174.000			
		t40+20～25	自然石	20kg/m ²		m ²	2,174.000			
		表層・基層（夜間）				式	1.000			第14号明細書
		特殊アスファルト舗装（じやりみち）				m ²	423.000			
		t40+20～25	自然石	20kg/m ² 、夜間施工		m ²	423.000			

内 訳 書

Page 5

工事区分	工種	種別	細別	細別規格	名称・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
					付属施設工	式	1.000			
					皿型側溝	式	1.000			第15号明細書
					皿型側溝（上）	m	7.400			
					皿型側溝（下） 300×80×350程度、水磨き	個	1.000			
					皿型側溝据付	式	1.000			
					車止め 据え置きタイプ	式	1.000			第16号明細書
					車止め	基	6.000			
					既設集水桝接続工	式	1.000			第17号明細書
					桝接続工	箇所	1.000			
					暗渠管工	式	1.000			第18号明細書

内 訳 書

Page 6

工事区分	工種	種別	細別	細別規格	名称・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
					暗渠管布設工	m	630.000			
					暗渠管工（夜間）	式	1.000			第19号明細書
					暗渠管布設工 夜間施工	m	58.000			
					縁石クリーニング工	式	1.000			第20号明細書
					縁石クリーニング 踏面部800mm	m ²	877.000			
					縁石クリーニング 縁石上面側面500mm	m ²	548.000			
					直接工事費計	式	1.000			
					共通仮設費					
					安全費	式	1.000			第21号明細書
					交通誘導員	人	40.000			

内 訳 書

Page 7

工事区分	工種	種別	細別	細別規格	名称・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
					交通誘導員（夜間） 2交代	人	20.000			
					共通仮設費率分	式	1.000			
					共通仮設費計	式	1.000			
					純工事費	式	1.000			
					現場管理費					
					現場管理費率分	式	1.000			
					現場管理費計	式	1.000			
					工事原価	式	1.000			
					一般管理費					
					一般管理費率分	式	1.000			

内 訳 書

Page 8

[illegible]